

令和6年度シラバス（保健体育）

学番21 県立阿賀黎明高等学校
3学年

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	2単位	学年（学類）	現代高等保健体育
使用教科書	現代高等保健体育				
副教材等	現代高等保健体育ノート				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。 ②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。 ③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①あらゆる進路に対応できるよう3つのカリキュラムを設定します。 ②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。 ③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。 ④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走しながら探究するプロジェクト学習に取り組みます。

2 学習目標

<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>	
(1)	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
(2)	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3)	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 指導計画

月	単元	教材又は項目	学習活動（指導内容）	評価方法	時間
通年	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	年間を通して走運動・柔軟運動・補強運動等を実施し、健康増進・体力向上を図る。	実技テストでの技能評価 授業中の技能評価 授業中におけるルールの理解	7
4・5	陸上競技	長距離走	持久走として男子3000m・女子2000mの計測。 体を動かす楽しさや心地よさを体感させる。健康の保持増進・体力の向上を図り、いきいきと運動に親しむ能力を身につけられるようにする。	記録や学習カードの記入状況 自己や他者の動作分析し、良い点や改善点の指摘 自己や他者の危険を回避するための活動の仕方を提案	10
選択① 6・7	球技	ベースボール型(ソフトボール)	状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。	1 種 目 選 択 授業への参加 服装や用具の準備状況 授業への取り組み 自己や他者の危険を回避するための活動	12
		ゴール型(サッカー)	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。		
		ネット型(卓球)	役割に応じたボール操作や安定したラケットの操作によって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。		
8・9 12	豊かなスポーツライフの設計	01生涯スポーツの見方・考え方 02ライフスタイルに応じたスポーツ 03スポーツを推進する取り組み 04豊かなスポーツライフの創造	・社会の変化にもなつてスポーツの役割がどのように変化したのかを説明できるようにする。 ・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できるようにする。 ・「する」スポーツライフスタイルについて例をあげて説明できるようにする。 ・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられるようにする。 ・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できるようにする。 ・自分が住んでいる身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられるようにする。 ・これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できるようにする。 ・豊かなスポーツライフを想像し、いくための課題について例をあげて説明できるようにする。	体育理論の考查結果 課題レポートの評価 授業への参加 授業への取り組み	5
選択② 9・10	球技	ネット型(バレーボール)	役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。	1 種 目 選 択 実技テストでの技能評価 授業中の技能評価 授業中におけるルールの理解 記録や学習カードの記入状況 自己や他者の動作分析し、良い点や改善点の指摘 自己や他者の危険を回避するための活動の仕方を提案	12
		ゴール型(バスケットボール)	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。		
		ネット型(卓球)	役割に応じたボール操作や安定したラケットの操作によって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。		
選択③ 11・12	球技	ネット型(バレーボール)	役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。	1 種 目 選 択 授業への参加 服装や用具の準備状況 授業への取り組み 自己や他者の危険を回避するための活動	12
		ゴール型(バスケットボール)	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。		
		ネット型(バドミントン)	役割に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をできるようにする。		
		ネット型(卓球)	役割に応じたボール操作や安定したラケットの操作によって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。		
選択④ 1・2・3	球技	ネット型(バレーボール)	役割に応じたボール操作や連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。	1 種 目 選 択	12
		ゴール型(バスケットボール)	状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。		
		ネット型(バドミントン)	役割に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をできるようにする。		
		ネット型(卓球)	役割に応じたボール操作や安定したラケットの操作によって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。		

「1単位時間は50分」

70

4 評価の観点の趣旨

観点	(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を身に付けている。

5 評価方法

観点	(1) 知識・技能 (40%)	(2) 思考・判断・表現 (30%)	(3) 主体的に学習に取り組む態度 (30%)
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実技テストでの技能評価 ・授業中の技能評価 ・授業中におけるルールの理解 ・体育理論の考査結果、課題・レポートの評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録や学習カードの記入状況 ・自己や他者の動作分析し、良い点や改善点の指摘 ・自己や他者の危険を回避するための活動の仕方を提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加 ・服装や用具の準備状況 ・授業への取り組み ・自己や他者の危険を回避するための活動 ・記録や学習カードの記入状況

6 担当者からの一言

体調管理を行い、休まずに積極的に参加してください。